

金澤醫科大學法醫學教室

(主任古畑教授)

金澤市一小學校兒童ニ於ケル血液型並ニ 血液型ト氣質トノ關係ニ就イテ

講師 醫學士 正 木 信 夫

助手 醫學士 越 後 一 雄

(昭和8年4月19日受附)

目 次

- | | |
|--------------------------------|----------------------------|
| 一. 緒 言 | (五) 血液型ト古川氏氣質ノ長所短所トノ
關係 |
| 二. 血液型調査成績 | |
| 三. 血液型ト氣質トノ關係 | 四. 血液型ト交友關係 |
| (一) 血液型ト積極的消極的氣質トノ關係 | (一) 血液型ト友人ノ數トノ關係 |
| (二) 古川氏ノ $\frac{A}{P}$ ニ就テ | (二) 友人同士ノ血液型ノ關係 |
| (三) 血液型ト古川氏氣質型トノ關係 | 五. 結 論 |
| (四) 氣質型判定者ノ血液型ト其ノ判定ノ
結果トノ關係 | 文 獻 |

一 緒 言

余等ハ曩ニ金澤市ニ於ケル四小學校、一高等女學校、金澤市近郊ノ六小學校ニ於テ兒童ノ血液型ヲ調査シ、北陸地方ノ血液型ノ分布狀態及ビ其ノ人種系數ニ就イテ考察シ、其ノ結果ハ先輩諸氏ノ成績ニ比シ、大差ナキコトヲ知ツタ。

其際古川氏ノ提案ニ從ツテ兒童ノ氣質ニ就イテモ調査ヲ行ヒ、氣質ト血液型トノ關係ニ關スル古川氏ノ假說ヲ實驗的ニ批判シタ。

血液型ト氣質トガ關係アルモノナラバ各方面ニ應用セラレル可能性ハアルガ、若シ關係ナキニモ拘ラズ此ノ說ガ廣ク誤信セラル、ニ至ルナラバ、其ノ影響ハ寒心スベキモノガアルデアラウ。

カ、ル問題ハ一般人ハ深ク眞理ヲ明カニスルコトナク、盲信シ易ク、或ハ心理的錯覺ニ陥ルノ危險性ガ多分ニアルコトヲ注意シナケレバナラナイ。少ク共指導ノ立場ニアル者ハ科學的見地ニ立ツテヨク熟慮シ、輕率ナル言動ヲセヌ様戒慎セネバナラナイト思フ。

余等ハ前述ノ如ク、古川氏ニ從ヒ、今迄ニ數千人ニ就イテ調査シテ見タガ、同氏ノ言フガ如キ關係ノ存在ヲ見出スコトハ困難デアツタ。

此處ニハ其後ニ調査シタ金澤市材木町小學校ニ於ケル成績ヲ報告スルコト、スル。

二 血液型調査成績

血液型調査ノ方法ハ從來ノ報告ニ記載シタ通りデアル。本材木町小學校ハ男子兒童ノミカラナツテ居ル。検査總數ハ749名デ、其ノ血液型ノ分布ハ(第1表)O型230名(30.71%)、A型283名(37.78%)、B型166名(22.16%)、AB型70名(9.35%)、人種係數ハ1.50デアル。之ハ余等調査ノ他ノ金澤市小學校兒童ノ血液型ノ分布ト殆ンド等シク、又從來調査ノ北陸地方人3,9186名ノ血液型ノ分布ト比較シテモ殆ンド變リハナイ。

第1表 材木町小學校兒童ノ血液型

血液型	O	A	B	AB	計	人種係數
一 年	33	35	18	13	99	
二 年	22	39	19	6	86	
三 年	42	41	23	11	117	
四 年	37	56	26	15	134	
五 年	41	48	32	14	135	
六 年	55	64	48	11	178	
計	230	283	166	70	749	
%	30.71	37.78	22.16	9.35	100.00	1.50
從來調査ノ北陸地方	12259	14403	8799	3725	39186	
%	31.28	36.76	22.45	9.51	100.00	1.45

ウェーリツシュノ p, q, r ノ値ハ、

$$p = \frac{1}{2} (10 - \sqrt{\overline{O+B}} + \sqrt{\overline{O+A}} - r) = 2.732$$

$$q = \frac{1}{2} (10 - \sqrt{\overline{O+A}} + \sqrt{\overline{O+B}} - r) = 1.727$$

$$r = \sqrt{\overline{O}} = 5.541$$

	p	q	r	p+q+r
材 木 町	2.732	1.727	5.541	100.00
北 陸 地 方	2.696	1.711	5.593	100.00

デアツテ北陸地方ノ p, q, r ノ値ニ比較スルニ殆ンド同ジデアル。

第 2 表 教師ノ血液型

	O	A	B	AB	計
男子	3	5	4	2	14
	21.43	35.71	28.57	14.29	100.00
女子	2	3	2	1	8
	25.00	37.50	25.00	12.50	100.00
計	5	8	6	3	22
	22.73	36.36	27.27	13.64	100.00

次ニ22名ノ同校教師ノ血液型ヲ調査シテ見ルト、O型5名(22.73%)、A型8名(36.36%)、B型6名(27.27%)、AB型3名(13.64%)デアツテ、此ノ結果ヨリ言ヘバ從來ノ調査結果ト等シクO型ガ少ク、B型ガヤ、多イ。小學校教師ニハA型ガ多イト言フ人ガアルガ此ノ結果ハ其ノ説ヲ裏切ツテ居ル。

三 血液型ト氣質トノ關係

(1) 血液型ト積極的消極的氣質トノ關係

血液型検査前ニ各受持教師ヲシテ兒童ヲヨク觀察セシメ積極的ノ子供デアルカ、消極的ノ子供デアルカヲ報告シテ貰ツタ。

第 3 表 血液型ト積極的、消極的氣質トノ關係

血液型	O		A		B		AB		計	
	積	消	積	消	積	消	積	消	積	消
一 年	9	11	12	13	7	3	8	3	36	30
二 年	9	12	18	18	10	9	2	4	39	43
三 年	22	20	20	20	12	11	6	3	60	54
四 年	17	20	29	27	11	15	9	5	66	67
五 年	16	24	25	27	19	17	7	7	67	71
六 年	28	27	30	34	16	33	6	5	80	99
計	101	114	134	135	75	88	38	27	348	364
%	46.97	53.03	49.81	50.19	46.01	53.99	58.46	41.54	48.88	51.12

之ニヨリ血液型トノ關係ヲ檢ベテ見ルト第3表ニ示ス如ク、積極的ノ兒童ノ頻度ハO型ハ215名中46.97%アリ、A型ハ269名中49.81%、B型ハ163名中46.01%、AB型ハ65名中58.46%デアツタ。即チAB型以外ハ積極的ノ者ヨリモ消極的ノ者ノ方ガ多イ。然シ其ノ差ハ極メテ僅カデアツテ、之ヲ意味ノアル差トハ考ヘラレナイ。次ニ積極的ノモノ、ミニ就イテ比較スルトAB型ガ最モ多ク、次イデA型、O型、B型ト言フ順デアリ、消極的ノモノハ此ノ逆ノ順位トナリ、一見AB型、A型ニハ積極的ノ者ガ多ク、B型、O型ニハ消極的ノ者ガ多イト言フコトニナル。此ノ成績ハ古川氏ノ主張トハ反對ノ結果トナリ、却ツテ石川(七五三二)、久保(良英)氏等ノ説ニ一致シテ居ル。

第 4 表 血液型ト積極的氣質トノ關係

	O	A	B	AB	計
積 極 者	101	134	75	38	348
同 % (F ₁)	29.02	38.51	21.55	10.92	100.00
平均誤差 (m ₁)	±2.43	±2.61	±2.20	±1.67	
北 陸 地 方	12259	14403	8799	3725	39186
同 % (F ₂)	31.28	36.76	22.45	9.51	100.00
平均誤差 (m ₂)	±0.22	±0.24	±0.22	±0.14	
F ₁ - F ₂	-2.26	1.75	-0.90	1.41	
$\frac{\text{差ノ平均誤差}}{\sqrt{m_1^2 + m_2^2}}$	±2.44	±2.62	±2.22	±1.68	
$\frac{F_1 - F_2}{\sqrt{m_1^2 + m_2^2}}$	0.93	0.67	0.41	0.84	

第 5 表 血液型ト消極的氣質トノ關係

	O	A	B	AB	計
消 極 者	114	135	88	27	364
同 % (F ₁)	31.32	37.09	24.17	7.42	100.00
平均誤差 (m ₁)	±2.43	±2.53	±2.24	±1.37	
北 陸 地 方	12259	14403	8799	3725	39186
同 % (F ₂)	31.28	36.76	22.45	9.51	100.00
平均誤差 (m ₂)	±0.22	±0.24	±0.22	±0.14	
F ₁ - F ₂	0.04	0.33	1.72	-2.09	
$\frac{\text{差ノ平均誤差}}{\sqrt{m_1^2 + m_2^2}}$	±2.44	±2.54	±2.26	±1.38	
$\frac{F_1 - F_2}{\sqrt{m_1^2 + m_2^2}}$	0.02	0.13	0.76	1.51	

ソコデ第4表、第5表ニ於テ、積極的ノ者及ビ消極的ノ者ヲ各型ニ分ケ一般北陸地方人血液型ノ比率ニ比較シテ見ルニ、兩者ノ差ハ極メテ僅カデアツテ積極的ノ者ハO型、B型ニ多イトカ、消極的ノ者ハA型、AB型ニ多イトカ或ハ又其ノ逆ノ關係等ハ存在シナイ。若シ、血液型ト氣質トガ古川氏ノ言フガ如ク、關係ガアルモノナラバ表中ノ $\frac{F_1 - F_2}{\sqrt{m_1^2 + m_2^2}}$ ガ3ヨリ大トナラナケレバナラナイ。然ルニ積極者ニ於テモ消極者ニ於テモ3ヨリ遙カニ小サイ。即チ積極者ニ於テモ消極者ニ於テモ血液型4型ノ比率ハ北陸地方平均ノ血液型4型ノ比率ニ等シイノデアツテ氣質ト血液型トノ間ニハ何等ノ關係モ存在シナイコトガ明カデアラウ。

(2) 古川氏ノ $\frac{A}{P}$ ニ就イテ

血液型ニヨツテ積極的ノモノト、消極的ノモノトガ區別出來ルト言フ事ガ立證セラレナイ限リ、古川氏ノ $\frac{A}{P}$ ヲ以テ諸種團體ノ氣質ヲ云爲スルコトハ當ヲ得タコトデナク、且ツ意義ノナイモノデアアルコトヲ再三報告シタノデ、駄足デアアルカトモ思フガ本調査ニ於テモ $\frac{A}{P}$ ガ實際ト一致シナイコトヲ指摘シテ置コウ。

第6表ハ各年級別ニ古川氏ノ所謂 $\frac{A}{P}$ ヲ計算シ、之ト實際ニ調査ノ結果ノ積極的ノモノト消極的ノモノトノ比ヲ比較シタノデアアル。

第6表 $\frac{A}{P}$ ニ就テ

	積 極	消 極	$\frac{\text{積 極}}{\text{消 極}}$	$\frac{A}{P} = \frac{O\%+B\%}{A\%+AB\%}$
一 年	36	30	1.20	0.83
	54.54%	45.46%		
二 年	39	43	0.91	0.95
	47.56%	52.44%		
三 年	60	54	1.09	1.33
	52.10%	47.90%		
四 年	66	67	0.98	0.90
	49.62%	50.38%		
五 年	67	71	0.94	1.23
	48.55%	51.45%		
六 年	80	99	0.81	1.39
	44.69%	55.31%		
計	348	364	0.96	1.13
	48.88%	51.12%		

處ガ此ノ結果ヲ見ルト、2年、4年ニ於テハ大體一致スル様デアアルガ、他ハ皆一致シナイ。5年、6年ハ消極的ノ者ガ實際ハ多イニモ拘ハラズ $\frac{A}{P}$ ハ積極的ノ方ガ可成リ多イコトニナツテ居ル。斯様ニ各先生ノ觀ラレタ各年級ノ氣質ト其ノ年級ノ示ス $\frac{A}{P}$ ノ持ツ意義トハ全然一致シナイ。即チ $\frac{A}{P}$ ヲ以テ、各年級ノ氣質ヲ云爲スルコトハ當ヲ得タコト、ハ言ハレナイ。

(3) 血液型ト古川氏氣質型トノ關係

氣質型ノ調査ハ血液型検査ノ結果ヲ通知前ニ古川氏ノ血液型ト氣質トノ關係表ヲ用ヒテ、各受持教師ニヨツテ各兒童ヲ觀察ノ結果判定セシメタモノデアアル。

以上ノ如クニシテ調査シタ兒童ノ氣質型ト血液型ノ結果トヲ整理スルト第7表ノ如クニナル。

第 7 表 氣質ト血液型トノ關係

氣質 \ 血液型	O		A		B		AB		計		
	實數	%	實數	%	實數	%	實數	%	實數	%	
O	實數	52	28.73	72	39.78	40	22.10	17	9.39	181	100.00
	%	22.61		25.44		24.10		24.28		24.16	
A	實數	98	34.38	102	35.79	64	22.46	21	7.37	285	100.00
	%	42.61		36.04		38.55		30.00		38.05	
B	實數	68	29.18	88	37.77	54	23.18	23	9.87	233	100.00
	%	29.57		31.10		32.53		32.86		31.11	
AB	實數	12	24.00	21	42.00	8	16.00	9	18.00	50	100.00
	%	5.21		7.42		4.82		12.86		6.68	
計	實數	230	30.71	283	37.78	166	22.16	70	9.35	749	100.00
	%	100.00		100.00		100.00		100.00		100.00	

氣質	O	A	B	AB	計	
一致	實數	52	102	54	9	217
	%	28.73	35.79	23.18	18.00	28.97
不一致	實數	129	183	179	41	532
	%	71.27	64.21	76.82	82.00	71.03

若シ、血液型ト氣質トガ關係アルトスルナラバ、氣質型 O 型トサレタ 181 名ハ大部分血液型 O ノ者デナケレバナラナイ。然ルニ O 型ノ者ハ僅カニ 52 名(28.73%)ニ過ギナイ。A 型ガ 39.78%、B 型ガ 22.10%、AB 型ガ 9.39% ツ、アル。又反對ニ血液型 O 型 230 名ハ大多數氣質型 O 型ト判定セラレテキナケレバナラナイ。然ルニ氣質型 O 型ハ 52 名(22.61%)ニ過ギズ、A 型ガ 42.61%アリ B 型ガ 29.57%アリ AB 型ガ 5.21%アツテ、氣質型 O トサレタモノヨリ A 型、B 型ト判定サレタモノ、方ガ却ツテ多イ。同様ニ A 型、B 型、AB 型ニ就イテ觀察シテ見テモ氣質型ト血液型、又ハ血液型ト氣質型トノ間ニ關係ガアルトハ考ヘラレナイ。

次ニ此ノ表ニ就キ各型ノ%ヲ縦ニ比較シテ見テモ、横ニ比較シテ見テモ各々皆殆ンド同數ヲ示シテ居ルノデアル。之レ古川氏ノ氣質ハ血液型トハ無關係ニ其ノ分布率ニヨツテ分配セラレテ居ルコトヲ示スモノデアル。

試ミニ氣質型ト血液型トノ一致率ヲ計算シテ見ルニ、總數 749 名中 217 名ガ一致シテ居ルカラ其ノ一致率ハ 28.97%ニ當ル。

此ノ一致率ハ、從來得タ余等ノ成績ト全く同ジデアツテ、アルーツノ事項ヲ四ツニ分配スル時ノ偶然一致率(25%±平均誤差)ノ範圍内ニアルモノデアル。即チ今回ノ調査成績モ古川氏ノ假説ニ一致セヌモノデアルト言ハナケレバナラナイ。

第 8 表

	O	A	B	AB	計
氣 質 型	181	285	233	50	749
血 液 型	230	283	166	70	749
同 一 致 率 (%)	30.71	37.78	22.16	9.35	100.00
氣質型ト血液型 偶 然 一 致	56	108	52	5	221
同一致率 (F ₁)	30.94	38.16	22.32	10.00	29.51
平均誤差 (m ₁)	±3.44	±2.88	±2.73	±4.24	±1.67
實際ノ一致數	52	102	54	9	217
同一致率 (F ₂)	28.73	35.79	23.18	18.00	28.97
平均誤差 (m ₂)	±3.36	±2.84	±2.76	±5.43	±1.66
F ₁ -F ₂	2.21	2.37	-0.86	-8.00	0.54
差ノ平均誤差 $\sqrt{m_1^2+m_2^2}$	±4.81	±4.04	±3.88	±6.89	±2.35
$\frac{F_1-F_2}{\sqrt{m_1^2+m_2^2}}$	0.46	0.59	0.22	1.16	0.23

次ニ田中氏ニ從ツテ理論的ニ偶然一致率ヲ計算シテ見ルト第8表ノ如ク、判定セラレタ各氣質型ノ人數ニ、各血液型ノ%ヲ各々乗ジテ得タ數ハ(小數點以下四捨五入スル)氣質ト血液型ト關係ガナクテモ偶然ニ一致スル人數デアラネバナラナイ。故ニ此ノ偶然ニ一致スル%ト實際調査ノ結果一致シタ%ト比較スルコトニナル。然シテ實際調査ノ結果ガ意義アルタメニハ其ノ一致率ガ偶然一致率ヨリ大デアツテ而カモ $\frac{F_1 - F_2}{\sqrt{m_1^2 + m_2^2}} > 3$ デナケレバナラナイ。然ルニ本調査ニ於テハ各型共ニ $\frac{F_1 - F_2}{\sqrt{m_1^2 + m_2^2}}$ ハ皆3ヨリ遙カニ小ナル數デアル。即チ此ノ調査ノ結果得タ氣質型ト血液型トノ一致率ハ全ク偶然一致率ノ範圍内ニアルモノデアツテ、氣質型ト血液型トハ無關係ナルコトヲ物語ツテ居ルモノデアル。

(4) 氣質型判定者ノ血液型ト其ノ判定ノ結果トノ關係

氣質型ヲ判定シタ受持教師ノ血液型如何ハ其ノ判定ニ何等カノ差異ヲ生ズルコトガナイカ、即チ判定者ノ血液型ニヨツテ特別ニヨク一致スル型、或ハ一致セヌ型ガナカラウカト思ヒ檢ベテ見タ。

其ノ結果ハ氣質型ト血液型トノ一致率ハ各型共ニ、25—30%内外デアツテ、判定者ノ血液型ニヨツテ、特別ニ一致率ノヨイト言フ様ナ型ハナカツタ。

第 9 表

氣 質 型		O	A	B	AB	計
O型教師四人 ノ觀察ノ結果	一 致 %	16 39.02	15 25.42	7 16.67	1 7.69	39 25.00
	不 一 致 %	25 60.98	44 74.58	35 83.33	13 92.31	117 75.00
A型教師七人 ノ觀察ノ結果	一 致 %	19 29.69	34 37.78	14 22.95	4 30.77	71 31.14
	不 一 致 %	45 70.31	56 62.22	47 77.05	9 69.23	157 68.86
B型教師六人 ノ觀察ノ結果	一 致 %	13 23.63	32 35.16	20 22.73	3 17.65	68 27.09
	不 一 致 %	42 76.37	59 64.84	68 77.27	14 82.35	183 72.91
AB型教師二人ノ觀察ノ結果	一 致 %	4 33.33	14 48.28	11 30.56	1 16.67	30 36.14
	不 一 致 %	8 66.67	15 51.72	25 69.44	5 83.33	53 63.86

(5) 血液型ト古川氏氣質ノ長所短所トノ關係

古川氏ニ從ヒ、氣質ト血液型關係調査第3案及ビ父兄ヨリ見タル兒童ノ氣質表等ヲ用ヒテ調査シタ結果ハ思ハシクナカッタノデ、今度ハ「修養無キ各血液型者ガ示ス本來ノ氣質ノ長所短所」トシテ古川氏ノ著書ニ掲ゲテアル表ヲ用ヒテ調査ヲ試ミテ見タ。

其ノ表中AB型ハ省キ、更ニO、A、Bノ記號ヲ略シテ、(イ)(ロ)(ハ)ニ代ヘ、長所ヲ1組トシ、短所ヲ2組ト符號ヲ附ケ、出來ルダケ先入感ヲサケ、各受持教師ガ兒童ヲ觀察シタアリノマ、ノ氣質ヲ各項目ニ互ツテ記入セシメルコトニシタ。

其ノ結果ハ第10表、第11表ニ示ス。被検査者ハO型230名、A型283名、B型166名、AB型70名デアル。表中ノ123……ハ氣質項目番號ヲ表シ、例ヘバ(イ)ノ(1)ハ氣質ノ長所ノ1、「自信力強キコト」ヲ代表シテ居ル。次ノ實數ノ項ニ29トアルハO型230名ノ内(イ)ノ(1)ノ項目ヲ答ヘタモノ、實數デ次ノ%ハ此ノ29名ノ230名ニ對スル%デアル。以下同様ニシテ各項目ノ關係ヲ調査シタ。

表中氣質各項目ノ%ヲ各血液型毎ニ比較スルト大體ニ於テ各血液型ニ對スル%ハ相等シイ。例ヘバ第10表長所ノ(イ)組ハ古川氏ハO型氣質ノ長所トシテアゲテ居ルノデアルガ、其ノ6項目中一ツトシテO型ニ特異デアルト言フガ如キモノハナイ。其ノ第6項「決心ノ後迷ハザルコト」ト言フ項目ノ如キハ僅カニ4.78%ニ過ギズ、其他ノ項目モ皆13%以下デアツテ、O型ノ特質タルコトハ認メラレナイ。此ノ(イ)組ノ6項ハO型ニハ4.78%デアツタガ、A型ニ於テハ4.24%、B型ニ於テハ4.82%、AB型ニ於テハ7.14%デアツテ各血液型ニ對シテ

	住所		第 學年 組		
血液型			姓名		
			年齢	年	ヶ月
下記ノ1組2組ノ各項目ヲヨク讀シテ一番ヨク當ツテキルト思フ各項目ニ○ヲ附ケテ下サイ。					
	イ	ロ	ハ		
1組	1. 自信力強キコト 2. 意志強固ナルコト 3. 物ニ動セザルコト 4. 理智的ニシテ感情ニ驅ラレザルコト 5. 精神力旺盛ナルコト 6. 決心ノ後迷ハザルコト	1. 溫厚從順ナルコト 2. 事ヲナスニ慎重細心ナルコト 3. 謙讓ナルコト 4. 反省的ナルコト 5. 感動的ナルコト 6. 同情心ニ富メルコト 7. 犠牲心ニ富ミ融和的ナルコト	1. 淡白ナルコト 2. 快活磊落ナルコト 3. 活動的ナルコト 4. 刺戟ニ應ズルコト速カナルコト 5. 果斷ナルコト 6. 社交的ニシテ親切ナルコト 7. 樂天的ナルコト		
2組	1. 強情頑固ナリ易キコト 2. 融和性ニ乏シキコト 3. 謙讓心ニ乏シキコト 4. 理智的ニシテ感情ニ動カサル、コト少ナキ結果物事ニ對シ冷靜トナリ冷淡ニナリ易キコト 5. 個人主義ニ傾キ易キコト	1. 心配性ナルコト 2. 感情ニ動カサレ易キコト 3. 意志強固ナラザルコト 4. 決斷力ニ乏シキコト 5. 己ヲ枉ゲ易キコト 6. 孤獨ニシテ非社交的ナルコト 7. 内氣ニシテ悲感的ナルコト 8. 恥カシガリナルコト	1. 移リ氣ナルコト 2. 執着心少ナキコト 3. 放膽ニシテ慎重ナラザルコト 4. 事ヲナスニ派出ナル結果事實ヲ誇張シ易キコト 5. 事ヲナスニ當リ動搖シ易ク意志強固ナラザルコト 6. 多辯ナルコト 7. 出過ギルコト		

略平等ニ存在シテ居ルノデアル。其他ノ項目モ同様血液型ニヨツテ差異ヲ見出スヲ得ナイ。

又、(ロ)組ハ古川氏ハA型ノ氣質ノ長所トシテ居ルノデアルガ調査ノ結果ハロ組ノ第1項「溫厚從順ナルコト」ト言フ項目ニ對シテハA型ハ36.04%答ヘラレテキテ可成リ多イ様ニ見エルガ此ノ項目ニ對シテハ、O型ニ於テモ30.87%、B型ニ於テモ40.96%ノ答中ガアリ、此ノ氣質ハA型ヨリモ寧ロO型、B型ニ多イト言フ結果ニナツテ居ル。即チ「決心ノ後迷ハナイ」ト言フコトハ、O型ニノミ存スル長所デハナク、各型ノ人ニ一様ニアルノデアル。又「溫厚從順ナルコト」ハA型ノミノ長所デハナク、各型平等ノ長所デアルト見ラレル。其他ノ各項目ニ就イテモ全ク同様デアツテ、血液型ト特別ノ關係ニアル項目ヲ見出サナイ。%ノ少ナイ項目ハ各型共ニ平等ニ少ナク%ノ多イ項目ハ各型共ニ多イノデアル。

次ニ(イ)(ロ)(ハ)各組ノ各氣質ノ答ヘノ平均ノ數ヲ計算シテ見ルト(イ)ニ於テハO型ニ8.62%、A型ニ10.66%、B型9.34%、AB型12.14%デアツテO型ニ最も多イ答ノ氣質ハ反對ニO型ニ最も少ナク、AB型ニ一番多イ。

若シ古川氏説ガ正シイナラバ(ロ)組ハA型ニ最も多クナケレバナラナイノニ却ツテB型

第10表 血液型ト1組(氣質ノ長所)トノ關係

血液型	氣質番號	O 230名		A 283名		B 166名		AB 70名	
		實數	%	實數	%	實數	%	實數	%
(イ)	1	29	12.61	45	15.90	22	13.25	13	18.57
	2	21	9.13	42	14.84	19	11.45	8	11.43
	3	26	11.30	32	11.31	27	16.27	10	14.29
	4	7	3.04	26	9.18	7	4.22	7	10.00
	5	21	9.13	24	8.48	10	6.02	8	11.43
	6	11	4.78	12	4.24	8	4.82	5	7.14
	平均		8.62		10.66		9.34		12.14
(ロ)	1	71	30.87	102	36.04	68	40.96	13	18.57
	2	33	14.35	38	13.43	23	13.86	5	7.14
	3	28	12.17	41	14.49	22	13.25	7	10.00
	4	22	9.57	33	11.66	17	10.24	7	10.00
	5	34	14.78	41	14.49	32	19.28	10	14.29
	6	29	12.61	39	13.78	17	10.24	7	10.00
	7	11	4.78	15	5.30	6	3.61	5	7.14
平均		14.16		15.60		15.92		11.02	
(ハ)	1	37	16.09	68	24.03	35	21.08	18	25.71
	2	38	16.52	51	18.02	27	16.27	8	11.43
	3	51	22.17	56	19.79	22	13.25	16	22.86
	4	39	16.96	35	12.37	25	15.06	11	15.71
	5	10	4.35	18	6.36	12	7.23	3	4.29
	6	27	11.74	31	10.95	18	10.84	9	12.86
	7	28	12.17	38	13.43	17	10.24	11	15.71
平均		14.29		14.99		13.43		19.59	

ノ方ガ多イコトニナツテ居ル。(ハ)組ニ於テモ AB 型ガ最モ多クテ(19.56%), 最モ多イ筈デア
ル B 型ハ一番少ナイト言フ奇現象ヲ呈シテ居ル。

上述ノ如ク、(イ)(ロ)(ハ)各組共ニ一ツトシテ古川氏説ト一致スル様ナ組ハナイ。次ニ各
血液型別ニ(イ)(ロ)(ハ)各組ヲ答ヘタ數ヲ比較シテ見ルト(イ)ヲ答ヘタ數ハ各型共ニ比較的
少ナク、(ロ)ト(ハ)トハ略同數デアツテ(イ)ニアグラレタ長所ハ一般ニ各型ヲ通ジテ少ナイ
モノデアルコトヲ知ル。然シテ O 型ニ於テハ(ロ)ト(ハ)ト略同數デアツテ殆ンド優劣ガナ
イ。A 型ニ於テモ(ロ)ト(ハ)ハ略同數デアルガ、ヤ、(ロ)ガ多イ様デアル。B 型ニ於テモ
(ロ)ガヤ、多イ様デアルガ、AB 型ニ於テハ(ハ)ノ方ガヤ、多イ。

第11表 血液型と2組(氣質ノ短所)トノ關係

血液型	氣質番號	O		A		B		AB	
		實數	%	實數	%	實數	%	實數	%
(イ)	1	36	15.65	50	17.67	17	10.24	11	15.71
	2	36	15.65	48	16.96	20	12.05	7	10.00
	3	27	11.74	31	10.95	12	7.23	5	7.14
	4	11	4.78	17	6.01	9	5.42	7	10.00
	5	26	11.30	34	12.01	15	9.04	7	10.00
	平均		8.45		9.09		6.28		7.55
(ロ)	1	44	19.13	49	17.31	34	20.48	9	12.86
	2	28	12.17	36	12.72	25	15.06	10	14.29
	3	32	13.91	44	15.55	25	15.06	7	10.00
	4	58	25.22	53	18.73	37	22.29	7	10.00
	5	21	9.13	30	10.60	20	12.05	6	8.58
	6	25	10.87	28	9.89	9	5.42	4	5.71
	7	42	18.26	42	14.84	24	14.46	10	14.29
	8	57	24.78	56	19.79	25	15.06	7	10.00
平均		16.68		14.93		14.98		10.71	
(ハ)	1	39	16.96	56	19.79	29	17.47	23	32.86
	2	43	18.70	52	18.37	24	14.46	14	20.00
	3	35	15.22	48	16.96	25	15.06	11	15.71
	4	14	6.09	13	4.59	6	3.61	3	4.29
	5	28	12.17	40	14.13	20	12.05	9	12.86
	6	39	16.96	48	16.96	24	14.46	12	17.14
	7	27	11.74	33	11.66	12	7.23	9	12.86
	平均		13.98		14.64		12.05		16.53

血液型と氣質ノ短所トノ關係ニ就イテモ長所トノ關係ニ於ケルト全く同様デアル。(第11表)

答ヘノ數ノ少ナイ氣質ノ項目ハ各型ヲ通ジテ皆少ナイ。例ヘバ(ハ)ノ第4項「事ヲナスニ派手ナル結果誇張シ易キコト」ト言フ、短所ハB型ニハ却ツテ少ナイ結果トナリ、寧ろO型A型ニ多イコトニナツテ居ル。又(ロ)ノ第4項「決斷力ニ乏シキコト」ト言フ短所ハA型ニノミアルノデハナク、O型、B型ニモ比較的多ク見ラレテ居ル。其他ノ各項目共ニ略各血液型ニ平等ニ現ハレル。

(イ)(ロ)(ハ)各組ノ答ヘノ平均ノ數モ(イ)組ハ各型共ニ略平等ニアリ、而カモ最モ少ナイ

ト豫想セラレル A 型ニ却ツテ多く、(ロ)ニ於テモ各型共ニ略平等ニ現ハレ、A 型ヨリモ寧ロ O 型、B 型ニ多イ位デアル。(ハ)組ハ AB 型ニ最モ多く、B 型ニハ最モ少ナイコトニナツテ居ル。然シテ(イ)ノ短所ハ各血液型ヲ通ジテ(ロ)(ハ)ヨリ少ナク O 型ニ於テモ A 型ニ於テモ B 型ニ於テモ(ロ)組ガ多く、AB 型ニ於テハ(ハ)組ガ多イコトニナツタ。

四 血液型ト交友關係

我々ノ交友關係ニ於テ氣ノ合フ友人ト氣ノ合ハヌ友人ガアルコトハ誰シモ經驗スル處デアル。氣ノ合フ者同士ハ自ラ交友ヲ結ビ、氣ノ合ハヌモノハ次第ニ遠ザカラントスルモノデアル。

石川(七五三二)文學士ハ男女師範學校及ビ中學校生徒ニ就イテ如何ナル血液型者が最モ交友ヲ作り易イカ、又交友トシテ選バレ易イカ、然シテ如何ナル血液型者相互ガ最モ仲ガ善イカト言フ問題ニ就イテ研究シ、男女ニヨツテ幾分ノ差ハアルガ、A 型ハ親友ノ數ガ最モ多く、AB 型ハ親友ノ數ガ最モ少ナイ。又親友トシテ選バレル血液型者ハ A 型ガ最モ多く、次イデ AB 型、O 型、B 型ノ順デアルト報告シタ。又如何ナル血液型者同士ガ親友ニナルカト言フ問題ニ對シテハ、A 型ト A 型トノ親友關係ガ最モ多く、O 型ト O 型トノ交友ガ相次ギ、其他ハ一段ト下ツテキテ A 型及ビ O 型ノ加ハル組セガ最モ多く、並ニ同型者ノ組合セ程親友關係ガ多く、一般ニ同型者同士ハ互ニ親友トナリ易イモノデアルト結論シテ居ル。又渡邊(道義)ハ師範學校及ビ中學校生徒ニ就キ調査シ、大體ニ於テ同型ノ者同士ガ最モ氣ノ合フコトヲ認メ、長瀬(誠)ハ 393 名ノ女學校生徒ニ就キ調査シ、渡邊トハ相反スル成績ヲ得テ居ル。

血液型ト交友關係トニ關シテハ前述ノ如ク、石川、渡邊ノ報告ト長瀬ノ全ク相反スル報告トガアル。

然シナガラ余等ハ前述ノ如ク血液型ト氣質トハ無關係デアルト思フモノデアツテ、又以下報告スル如ク血液型ト交友トノ間ニモ其ノ關係ヲ認ムルコトガ出來ナイ。

(1) 血液型ト友人ノ數トノ關係

尋常 4 年以上ノ兒童ニ就キ、各自ノ友人ノ氏名ヲ答ヘシメ、夫レヲ後ヨリ余等ノ調査シタ血液型別ニ整理シテ本人トノ關係ヲ調べタノデアル。

第 12 表ニ見ル如ク「友人ナシ」ト答ヘタモノハ B 型ニ最モ多く(5.66%)、「友人 1 人」ト答ヘタモノハ A 型ニ最モ多く(50.60%)、次イデ AB 型デアル。「友人 2 人」ハ O 型ガ最モ多く、次イデ B 型、AB 型デ、A 型ハ最モ少ナイ。「友人 3 人以上」ハ A 型ガ最モ多く、次イデ O 型、B 型、AB 型ノ順デアル。

以上ノ成績ヨリ觀レバ A 型ハ友人ノ數ガ最モ多イト言フ石川ノ成績ニ一致スル様デアル。然シナガラ調査人數モ充分デナク、其ノ間ニ關係アリトハ考ヘ難イ。

(2) 友人同士ノ血液型ノ關係

前調査ニ於テ、友人 2 人ヲ有スルモノハ 2 組ノ友人ト數ヘ、友人 3 人ヲ有スルモノハ 3 組ノ友人ト數ヘテ本人ト友人トノ血液型ノ關係ヲ觀ルニ、本人ニ對スル友人ノ各型ノ割合ハ第

第12表 血液型ト友人ノ數 (四年以上)

本人ノ血液型 友人ノ數	O	A	B	AB	計
ナシ	4 3.01	8 4.76	6 5.66	2 5.00	2 4.47
1人	63 47.37	85 50.60	50 47.17	20 50.00	218 48.77
2人	50 37.59	50 29.76	39 36.79	14 35.00	153 34.23
3人以上	16 12.03	25 14.88	11 11.08	4 10.00	56 12.53
計	133 100.00	168 100.00	106 100.00	40 100.00	447 100.00

13表ニ見ル如ク、大體ニ於テ同ジデアル。例ヘバA型ノ人ノ友人ハ各型ノ人ガアツテ一番多ク、次イデO型、B、AB型ノ順デアツテ特ニ%ノ高イ組合セラ見出サナイ。即チ友人同

第 1 3 表

本人 友人	O	A	B	AB	計
O	56 35.00	66 30.42	34 28.10	11 28.95	167 31.16
A	61 38.13	83 38.25	47 38.84	15 39.47	206 38.43
B	32 20.00	54 24.88	33 27.27	6 15.79	125 23.32
AB	11 6.87	14 6.45	7 5.79	6 15.79	38 7.09
計	160 100.00	217 100.00	121 100.00	38 100.00	536 100.00

第14表 總計ノ%ニ對スル示數

本人 友人	O	A	B	AB
O	1.12	0.98	0.90	0.93
A	0.99	0.995	1.01	1.03
B	0.86	1.07	1.17	0.68
AB	0.97	0.91	0.82	2.23

士ノ血液型ノ間ニハ特別ノ關係ヲ見出シ得ナイ。

今試ミニ渡邊、長瀬等ノ如ク、總計ノ%ニ對スル指數ヲ計算シテ見ルト(第14表)O型ノ者ハO型トO型ノ組合セニ於テ最モ指數ガ高ク1.12ヲ示シ、A型ノ者ハAB型トノ組合セニ於テ最モ指數ガ多ク、次イデB型デアリ、B型ノ者ハ同型トB型トノ組合セニ於テ最モ指數多ク、AB型ノ者ハAB型トノ組合セニ於テ最モ指數多イト言フ結果トナリ、略同型者同士ハ友人トナル率ガ他ニ比シテ高イト言フ成績トナリ、石川、渡邊等ノ成績ト同一ノ傾向ヲ示シテ居ル様デアル。然シナガラAB型ヲ除ク他ハ同型者同士ノ組合セノ%モ指數モ甚ダ低クテ明カナ關係ヲ認メシムルニ至ラナイ。調査數モ充分トハ言ヘナク、強ヒテ言ヘバ友人同士ハ同型者ニ多イ傾向ハ認メラレルト言ヘルガ、或ハ偶然ノ結果デアルカモ知レナイ。

五 結 論

1. 余等ハ金澤市材木町小學校兒童ノ血液型ヲ調査シ、次ノ如キ成績ヲ得タ。

調査總數749名、内O型230名(30.71%)、A型283名(37.78%)、B型166名(22.16%)、AB型70名(9.35%)、人種系數1.50、 $p=2.733$ 、 $q=1.727$ 、 $r=5.541$ デアル。

此ノ成績ハ余等從來報告ノ金澤市ニ於ケル此ノ種調査並ニ從來調査ノ北陸地方ノ血液型ノ分布ト殆ンド一致シテ居ル。

同校ノ教師ノ血液型ハO型5名(22.73%)、A型8名(36.36%)、B型6名(27.27%)、AB型3名(13.64%)合計22名デアル。

2. 余等ハ血液型ト積極の消極の氣質トノ關係ヲ吟味シテ見タガ、古川氏ノ言フガ如キ關係ヲ見出スコトガ出来ナカツタ。積極者ニ於テモ、消極者ニ於テモ其ノ血液型ノ分布ハ何等異ル所ナク、之等ノ氣質ハ血液型トハ全ク無關係デアツタ。

3. 從ツテ $\frac{A}{P}$ ハ古川氏ノ言フガ如キ意義ハナク、余等ノ調査ニヨレバ事實ト少シモ一致シナイ。

4. 古川氏ノ所謂氣質型ト血液型トノ關係ニ就イテハ、余等ノ成績ハ否定的デアル。氣質型ハ血液型トハ無關係ニ總テノ人ニ幾分ヅ、ハ見出サレルモノデ血液型ニヨツテ氣質ヲ分類スルコトハ妥當デハナイト考ヘル。余等調査ニ於テ氣質型ト血液型トノ一致率ハ28.97%デアツテ偶然一致率ノ範圍内ニアル。

5. 兒童ノ氣質ヲ判定シタ受持教師ノ血液型ト其ノ判定結果トノ間ニハ何等ノ關係ガナイ。

6. 古川氏ノ「修養ナキ各血液型者ガ示ス本來ノ氣質ノ長所短所」ト言フ表ヲ用ヒ、各受持教師ニ托シテ各兒童ヲ觀察セシメ、各氣質項目ニ就キ血液型トノ關係ヲ調査シタガ其ノ結果ハ長所ニ就イテモ、短所ニ就イテモ、血液型トノ間ニ特別ノ關係ヲ見出サナイ。回答ノ多カッタ氣質ハ各血液型ヲ通ジ略同様ニ多ク、少ナカツタ氣質ハ各型者共ニ少ナク、即チ氣質ノ長所モ短所モ各型ノ人ニ殆ンド一樣ニアルノデアツテ、古川氏ノ言フガ如ク血液型ニヨル氣質ノ長所短所ト言フモノハ存在シナイ。

7. 血液型ト兒童ノ交友關係トノ間ニモ關係ガアルトハ考ヘラレナイ。

終リニ古畑教授ノ御校閲ヲ謝シ、併セテ本調査ニ當リ多大ノ御厚情ト御協力ヲ賜ツタ材木町小學校諸先生ニ對シテ深く感謝致シマス。尙血液採取當日御手傳ヒ下サレシ本學々生田口、伊藤、永野3氏ニ厚ク御禮申シマス。

主要文獻

- 1) 古川竹二, 血液型ト氣質, 三省堂出版, 昭和7年1月.
- 2) 石川七五三二, 交友關係ト血液型, 通俗醫學, 第395—396—367號, 昭和7年4月, 5月, 6月.
- 3) 渡邊道義, 氣ノ合ツタ友人ト本人トノ血液型ノ關係ニ就テ, 血液型研究, 第13號, 和7年10月.
- 4) 長瀬誠, 渡邊氏「氣ノ合ツタ友人ト本人トノ血液型トノ關係」ヲ讀ミテ行ヘル余ノ追試成績, 血液型研究, 第17號, 昭和8年2月, 3月.
- 5) 古畑種基, 結婚ト血液型ノ話, 通俗醫學, 第416號, 昭和8年4月.
- 6) 淺田一, 結婚ト血液型ノ話, 通俗醫學, 第416號, 昭和8年4月.
- 7) 同人, 醫大學生58名ノ血液型検査成績檢討, 血液型研究, 第16號, 昭和8年1月.
- 8) 正木信夫, 古川氏ニヨル氣質型ト血液型トノ關係ニ就テ, 東京警事新誌, 第2807號, 昭和7年12月.
- 9) 正木信夫, 越後一雄, 血液型ト氣質トニ關スル調査, 血液型研究, 第16號, 昭和8年1月.
- 10) 同人, 石川縣河北郡一小學校兒童ノ血液型調査, 十全會雜誌, 第38卷第3號, 昭和8年3月.
- 11) 同人, 石川縣河北郡五小學校兒童ノ血液型調査成績, 十全會雜誌, 第38卷, 第4號, 昭和8年4月.
- 12) 同人, 金澤市新墾町小學校兒童ノ血液型調査並ニ血液型ト氣質トノ關係ニ就イテ, 十全會雜誌, 第38卷, 第5號, 昭和8年5月.
- 13) 同人, 金澤市某高等女學校生徒ニ就イテ行ヘル血液型並ニ氣質ト血液型トノ關係調査成績, 十全會雜誌, 第38卷, 第5號, 昭和8年5月.
- 14) 同人, 石川縣河北郡一小學校兒童ニ於ケル血液型ノ分布, 並ニ血液型ト氣質トノ關係, 十全會雜誌, 第38卷, 第6號, 昭和8年6月.
- 15) 同人, 金澤市三小學校ニ於ケル血液型並ニ血液型ト氣質トノ關係調査ニ就イテ, 十全會雜誌, 第38卷, 第8號, 昭和8年8月.
- 16) 和田國三郎, 鹿兒島縣人ノ血液型並ニ血液型ト氣質智能及體格トノ關係ニ就テ, 熊本醫學會雜誌, 第9卷, 第1號, 昭和8年1月.
- 17) 西弘二, 血液型ト氣質, 血液型研究, 第16號, 昭和8年1月.
- 18) 谷口謙, 血液型検査實施ノ雜考, 血液型研究, 第16—17號, 昭和8年1月—2月.
- 19) 岡園助左衛門, 宮崎縣下小學校劍道選手ノ血液型ニ就テ, 血液型研究, 第16號, 昭和8年1月.
- 20) 山本德行, ダウニー意志氣質検査ト血液型, 血液型研究, 第17號, 昭和8年2月.
- 21) 川畑晁辰, 女學生ノ血液型ト氣質智能體質運動等トノ關係ニ就テ, 血液型研究, 第17—18號, 昭和8年2月, 3月.
- 22) 谷口良太郎, 小學校兒童ノ血液型ト氣質トノ關係, 血液型研究, 第17號, 昭和8年2月.
- 23) 久野六郎, 職業ト血液型トノ關係, 血液型研究, 第18號, 昭和8年3月.
- 24) 高須正未, 城谷文四郎, 小野寺二郎, 山口縣下某公衛職員ノ血液型検査成績並ニ其健康狀態トノ關係觀察, 血液型研究, 第18號, 昭和8年3月.
- 25) 岩井勝三郎, 血液型ニ就テ, 京都帝國大學心理學教室讀書會抄録, 心理學研究, 第8卷, 第1號, 昭和8年2月.
- 26) 勝矢信司, 血液型ニヨリ氣質ハ分類セラレ得ルモノナリヤ, 犯罪學雜誌, 第7卷, 第2號, 昭和8年3月.
- 27) 古川竹二, 血液型ト氣質ノ問題ニ對スル勝矢教授ノ批評ニ答フ, 醫海時報, 第2014號, 昭和8年4月.

此ノ他ハ十全會雜誌上從來余等ノ此ノ種報告ニ記載シテアルカラ省略スル。